

# バングラデシュ経済概況2018

在バングラデシュ日本大使館 2018年4月4日時点 ※バングラデシュ会計年度(FY)は前年7月から翌年6月

## 1. 経済成長状況

### ① GNI/GDP/成長率

項目 (百万ドル)	2014-15	2015-16	FY 2016-17
1人あたりGNI	1,316	1,465	<b>1,610</b>
1人あたりGDP	1,236	1,385	<b>1,544</b>
GDP成長率	6.55%	7.11%	<b>7.28%</b>

出典：バングラデシュ統計局

### ② 貿易収支

項目 (百万ドル)	2014-15	2015-16	FY 2016-17
輸入	37,662	39,901	<b>43,491</b>
輸出	30,697	33,441	<b>34,019</b>
貿易収支	-6,965	-6,460	<b>-9,472</b>

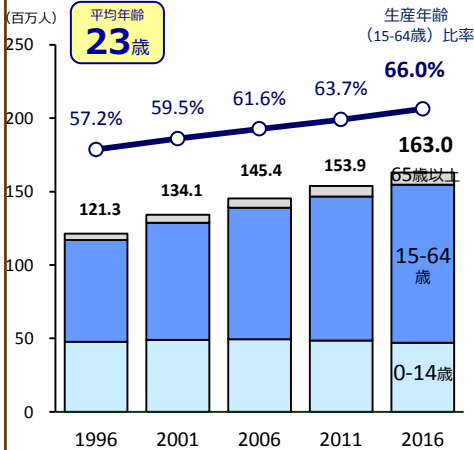
出典：バングラデシュ財務省

### ③ FDI/海外送金/外貨準備高

項目 (百万ドル)	2014-15	2015-16	FY 2016-17
対内直接投資(FDI)	1,834	2,004	<b>2,455</b>
海外送金受け取り	15,317	14,931	<b>12,769</b>
外貨準備高	25,020	30,176	<b>33,407</b>

出典バングラデシュ中央銀行/財務省

### ④ 1996-2016 年代別人口推移



### ⑤ 主要貿易取引先・商品

輸入先/商品		輸出先/商品	
輸入国	輸入シェア	輸出先	輸出シェア
中国	28%	アメリカ	17%
インド	13%	ドイツ	16%
シンガポール	4%	イギリス	10%
日本	4%	フランス	5%
韓国	3%	イタリア	4%

輸入品		輸出品	
輸入品	輸入シェア	輸出品	輸出シェア
設備機械	8.1%	既製服	41%
石油製品	6.2%	ニット	39%
綿	5.4%	ジュート製品	2%

出典：バングラデシュ財務省

### ⑥ 主要経済協力事業

事業名	支援国
パドマ多目的橋	バングラデシュ
ループル原子力発電所	ロシア
ランパル石炭火力発電所	インド
パドマ橋鉄道	中国
<b>マタバリ石炭火力発電所</b>	<b>日本</b>
パイラ港	多国間
ラム-グンダム間鉄道	ADB
<b>ダッカ市メトロ事業</b>	<b>日本</b>
浮体式LNGターミナル	多国間
<b>マタバリ地区総合開発</b>	<b>日本</b>

出典：報道より

## 2. 経済成長への課題

### ① 依然高い貧困率 (出典：バングラデシュ統計局)

	全体	都市部	地方部	極度貧困率
FY2010	31.50%	21.30%	35.20%	17.60%
<b>FY2016</b>	<b>24.30%</b>	<b>18.90%</b>	<b>26.40%</b>	<b>12.90%</b>
削減率	-7.20%	-2.40%	-8.80%	-4.70%

### ② 経済基盤の脆弱性

- ▶輸出における縫製産業への偏り (2016年度輸出全体の8割 (財務省))
- ▶海外送金への依存 (外貨準備高比3割強 (財務省))
- ▶低い税率 (2016-17対GDP比政府目標11.6%, 実際9.8%, 高い関税比率 (税収入の約3割))

### ③ 教育の質の低さ、熟練工の不足

(例：海外労働者の55%は非熟練工 (報道))

### ④ 投資阻害要因

- ▶汚職の蔓延
- ▶不十分なインフラ (2018年現在電力供給率は全土で約80%, 道路、港の混雑による輸出入取引の遅延)
- ▶行政システムの未発達 (手続きの複雑性, 遅延)

### ⑤ 気候変動への対応

## 3. 政府の取り組み

### ① 貧困削減に向けた各種アプローチの実施

- ▶中小事業の促進 (ローンの提供など)
- ▶ソーシャルセーフティ事業の実施
- ▶非政府団体との連携 (マイクロクレジットなど)

### ② 経済基盤の強化

- ▶産業多角化推進 (IT, 食品加工, ジュート, 機械など)
- ▶歳入強化 (VATの改訂による税収強化予定, e-Taxなど)

### ③ 教育・技術研鑽機会の拡大 (人材開発に予算の24%, IT教育機関の拡大など)

### ④ 投資の促進

- ▶ワンストップサービスなどの窓口機関の一本化推進 (現在法案作成中, 7月より開始予定)
- ▶インフラ整備 (発電所・送電網整備, 道路・鉄道, 港)
- ▶特別経済特区 (SEZ) の設置, 2030年までに**100の経済特区**設置
- ▶官民協同事業の展開 (PPP事業)

### ⑤ 気候変動対応アクションプランの制定

● 2017-18年度の「バ」政府のGDP経済成長率見通しは**7.65%** (政府当初の目標は7.4%)

● 2017-18年度の実質GDPは2829億5300万ドル予測 (2011-12年度 (1334億6400万ドル) から2倍以上の伸長)

● 平均年齢23歳、2015年から約40年間は人口ボーナス期が続く見込み

● 2015年7月：世界銀行分類で**低中所得国 (Lower-middle income Countries)** 入り、  
2018年3月：国連の**LDC (後発開発途上国) の卒業基準を達成** (最短で2024年に卒業)

● SDGsの17指標のうち、7指標は基準内 (貧困率/ジェンダー平等/水衛生/不平等の削減/責任ある消費・生産/気候変動取組/土地環境) 報道より

● 縫製産業を中心に**輸出の拡大**, 中国に替わる生産拠点 (China+1) としての**投資の増加**  
(中所得国入りの為の政府のFDI目標は67億ドル/年)

● 大型発電所, 道路・鉄道, 港など大規模の開発事業が全土で実施中